

第5回岩手県広域サイクリングルート検討会議 議事概要

1 日時

令和6年2月8日（木） 13時30分～15時30分

2 場所

サンセール盛岡3階 鳳凰の間

3 出席者

別添出席者名簿のとおり

4 議事

- (1) 岩手県広域サイクリングルート最終案について
- (2) 整備マニュアル最終案の提示について
- (3) 岩手県広域サイクリングルート名称案について
- (4) 今後のスケジュールについて

5 配布資料

- ・ 次第
 - ・ 出席者名簿
 - ・ 配席図
 - ・ 岩手県広域サイクリングルート検討会議設置要綱
- 【資料1】 岩手県広域サイクリングルート最終案について
- 【資料2】 整備マニュアル最終案の提示について
- 【資料3】 岩手県広域サイクリングルート名称案について
- 【資料4】 今後のスケジュールについて

6 会議結果

○議事

(1) 岩手県広域サイクリングルート案について

- ・ 事務局から資料1について説明。

<意見等> ※ 「⇒」：事務局回答

(岩手県サイクリング協会 盛合事務局長)

- ・ 自転車を三陸鉄道に載せる場合、解体させる必要はあるのか。
⇒ 三陸鉄道との協議の結果、前日までの連絡で、解体しないまま乗車することができる。また、当日であっても団体客と重ならない場合であれば乗車可能である。

(岩手県サイクリング協会 盛合事務局長)

- ・ 三陸鉄道を活用し、トンネルを避けるようなルート検討であるものの、ルート最終案では宮古から田老の間でトンネルが5箇所ある。この区間は問題ないか。
⇒ 宮古以北の国道45号では、長大トンネルが複数あることは認識している。このため、来年度以降テスト走行を行い、意見をいただきながら適宜、ルートを見直しを行っていききたい。

(岩手県立大学総合政策学部 宇佐美准教授)

- ・ 安全性について、随時見直しはある。また、釜石駅と三陸駅はホームまでに階段があるため、列車への載せやすさについても検討するべきである。
⇒ 今後の検討の参考としたい。

(岩手県商工会連合会 内金崎内金崎自転車商会代表)

- ・ 大槌町吉里吉里地区から県道へ入るところは、獣出没や落ち葉による転倒に関する注意喚起があると良い。
- ・ 釜石市の天神トンネルは長いため、三陸鉄道活用区間の南端を釜石駅まで伸ばすことはできないだろうか。
- ・ 水門を通るルートを学校では通しているので、ルートを変更するか考えてもらいたい。
⇒ 注意喚起看板は設けたい。また、鶴住居駅から釜石駅の間において、初心者の方には鉄道を活用していただきたいとアナウンスをしたい。ルート変更については会議後に詳細な状況を確認させていただきたい。

(国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所 香木副所長)

- ・ 久慈バイパスの長内トンネルはカーブ区間となっており事故も多いことから、サイクリングルートでは回避したいという意見を出したが、それは反映されているか。
⇒ ご指摘の箇所を避け、市道および国道281号へ見直ししている。

(国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所 香木副所長)

- ・ 図面の縮尺が大きいいため、最終的な詳細図があると助かる。
⇒ 今回は全体図のみ用意しているが、最終版として拡大図を用意したい。

(2) 整備マニュアル最終案の提示について

- ・ 事務局から資料2について説明。

<意見等> ※ 「⇒」：事務局回答

(国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所 香木副所長)

- ・ 幅60cmでは建築限界違反になるため、幅50cmに修正してほしい。また、看板60cmの場合は、高さ2.5m以上とすべき。
⇒ 確認、整理して記載したい。

(岩手県サイクリング協会 盛合事務局長)

- ・ 冬期はサイクルステーションでもサイクルラックが設置されていない。また、設置されている場所でも壁に寄せられていて利用できない場合がある。ルールを周知して、守っていただく運用をお願いしたい。
- ・ ルート設定を進めるにあたり、サイクリストや地域住民からの意見も広く集めることが重要だと思う。イベント等の企画も含め、地域や関係者を巻き込んで進めていきたい。
⇒ 座長からも同様の指摘をいただいている。また、登り旗を春頃に再配布したいので、そのタイミングでルールを周知したいと考えている。

(岩手県サイクリング協会 盛合事務局長)

- ・ 海外で見られるバイクホテル等、宿泊施設におけるサイクリストへのアピール方法を検討していくべき。
⇒ 該当施設については、ルートやマップに記載して周知していきたい。

(国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所 香木副所長)

- ・ 矢羽根やライン設置の進め方について、試験的に滑らない材料を使うことや破線での標示も検討していただきたい。
⇒ 現在は、外側線と同じペイント式を想定しているが、溶融式での検討や材料等についても検討したい。

(岩手県観光協会 田丸専務理事兼事務局長)

- ・ 宿泊施設をPRするのであれば、観光協会として協力したい。
- ・ 道の駅のサイクルステーションについては、更新中の「いわての旅の地図」に記載したいと考えており、連携して取り組んでいければと思う。
⇒ 是非よろしくをお願いしたい。

(3) 岩手県広域サイクリングルート名称案について

- ・ 事務局から資料3について説明。

<意見等> ※ 「⇒」：事務局回答

(岩手県立大学総合政策学部 宇佐美准教授)

- ・ 幅広い世代、地域からたくさんの候補をいただき、大変嬉しく思う。

(岩手県観光協会 田丸専務理事兼事務局長)

- ・ ルート名称決定後、構成員であるホップス教授と相談しながら、海外の方にも伝わる英語表記やローマ字表記を検討していただきたい。

⇒ ご提案のとおり、検討したい。

(岩手県立大学総合政策学部 宇佐美准教授)

- ・ 英語を使う際、類似する名称がないか確認してほしい。

(4) 今後のスケジュールについて

- ・ 事務局から資料4について説明。

<意見等> ※ 「⇒」：事務局回答

(国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所 松村課長)

- ・ 今後の進め方をどのように決めていくのか、予算取りの関係もあるため、事務局の考えがあれば教えてほしい。

⇒ 県は来年度の予算要求をしている。

まず、工事発注できるレベルの簡略的な設計を行い、その後に工事を行う。

(国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所 松村課長)

- ・ 工事は一気にを行うのか、または段階的にを行うのか、教えていただきたい。

⇒ 総延長が膨大であるため、段階的に進めることになる。優先的に実施する区間を道路管理者と個別に検討を進めていきたい。

(岩手県サイクリング協会 盛合事務局長)

- ・ コース確定後に試走会を実施ということだが、時期はいつ頃を想定しているか。

⇒ 今年5月頃を想定しており、準備を進めたい。

(岩手県サイクリング協会 盛合事務局長)

- ・ 告知してサイクリストを集める場合、5月開催には時間が無いと思う。この時期には他のイベントも多く開催されているため、早めに告知してほしい。

⇒ 実施に向けて準備を進める。

○その他

(岩手県立大学総合政策学部 宇佐美准教授)

- ・ 全5回の検討会議では、構成員の皆さんから建設的で活発な意見交換ができ、うまくまとめることができたと思う。
- ・ 今後、整備を進める中でフォローアップが重要になるため、協議会のような後継組織づくりが必要になろうかと思う。構成員の皆さまには引き続きご協力いただきたい。